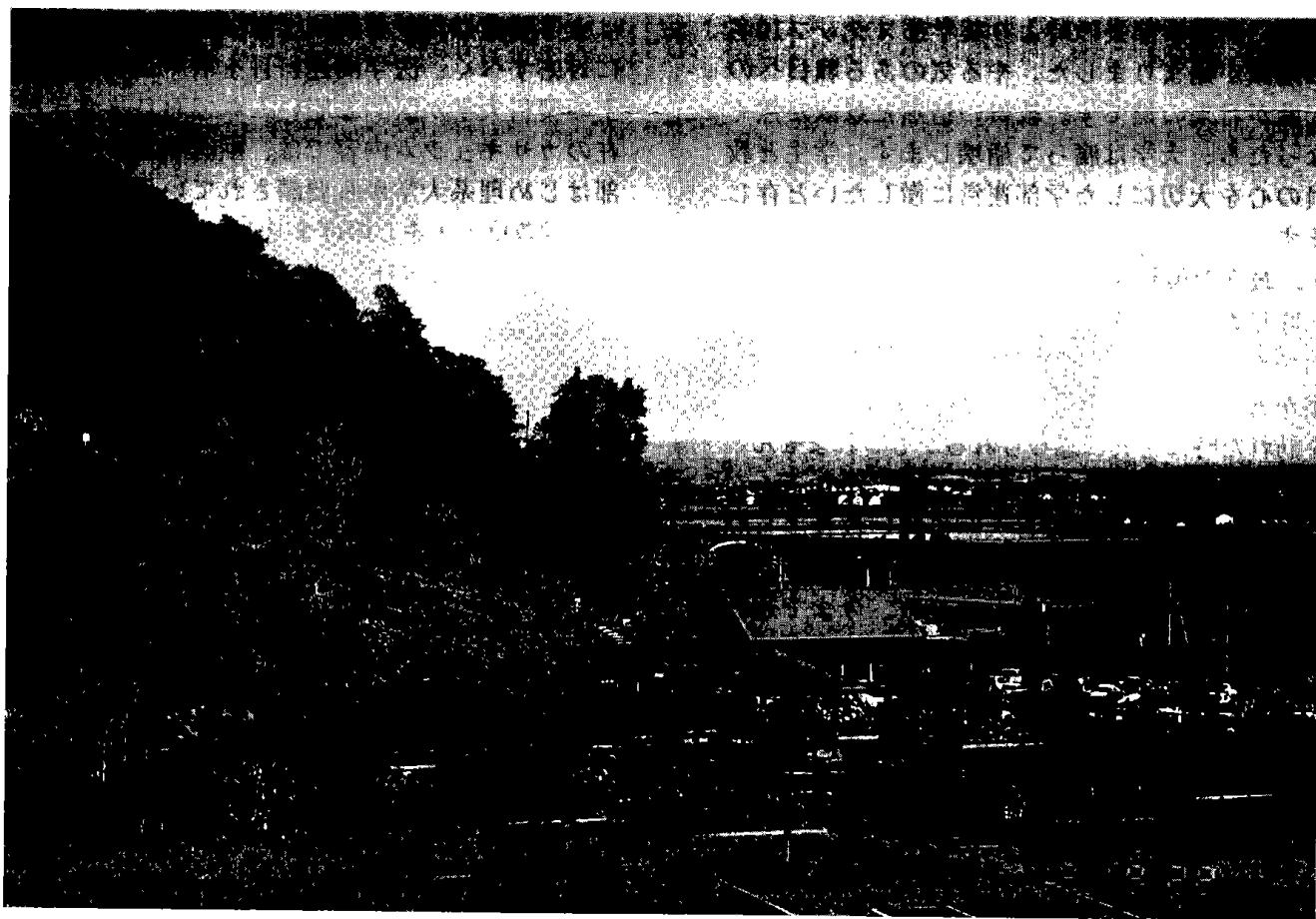


東日薬会報

発行所 北海道石狩郡当別町金沢1757番地
 北海道医療大学薬学部同窓会
 印刷所 (株)廣濟堂／札幌営業所

☎ (01332) 3-0301 直通・FAX
 ☎ (01332) 3-1211 大学代表 発行人 山崎 信彦
 札幌市白石区菊水二条1 ☎ (011) 842-5510



目 次

「薬学部長就任挨拶」	2
ご退任おめでとうございます 羽賀正信教授	3
門間芳夫教授	4
札幌支部勉強会のお知らせ	4
東日薬懇親会のお知らせ	4
支部だより	5
随筆 一春の嵐	7
新入会員名簿	8
総会報告	9
卒後研修のお知らせ	10

「薬学部長就任挨拶」

薬学部長
南 勝



思いもかけずに薬学部長を拝命することになりました。本年度から基礎教育部の先生方が薬学部に分属されました。薬学部の運営、将来計画などに参画して貰いたいと考えております。2008年より全国の大学入学定員より18歳人口が減る少子化社会に突入します。08計画の一環として、羽賀学部長の時より薬学部スタッフ10名の削減が始まりました。やる気のある職員への配慮が将来の鍵です。教員の情熱と意欲が無くなったら、大学は腐って崩壊します。学生と教員の心を大切にしたいと存じます。

1. 教室の再配置

昨年教育の再配置が行われました。16講座の面積が同一としても、広くなる講座は離れた部屋があたり、広がった講座は狭くなり配属教室を訪れた時に奇異に感じられるかもしれません。

2. 基礎教養部教員の薬学部分属

全国の大学が国の教育大綱に従い教養部を廃止しました。本学基礎教育部の先生方も、本年より3つの学部に分属されました。今まで通り3学部学生の基礎教育を担当することになりますが、薬学部分属の先生方は自ずと主に薬学部学生の教育指導に関わることとなります。薬学部教授会のメンバーになり、学部長選挙の選挙権および被選挙権もありますし、薬学部の教授選考の投票権もあります。高橋宏教授（英語）、久々湊晴夫教授（法学）、渡辺秀樹助教授（物理学）、高橋大教授（化学）、武智春子助教授（化学）、横澤菱三教授（生物学）、樋口孝城教授（生物学）の7名の先生方が薬学部の教員になりました。

3. 薬剤師教育6年制問題

文部省、厚生省、薬剤師会などの6者懇と呼ばれる薬剤師教育検討懇談会が、6年一貫教育が良いか、国立大薬学部が主張する学部修士2年の4プラス2制が良いか議論が続いております。4年制に戻るとは思えません。疾患とゲノムとの関連性の解明や遺伝子治療そして移植など医療の急激な進展を克服すめために、21世

紀の医療職について、医学部は6年プラス2年の臨床実務実習が義務付けられ、歯学部も6年プラス1年の臨床実習が義務づけられます。看護協会は4年プラス2年の高等教育を受けた看護婦（士）に30以上の専門職の称号を別に設けることにしました。国立の薬学部は大学院重点化や薬剤師国家試験の医療薬学化に対応すべく、医学関連科目を増やし、半数以上の薬科大学が医師を雇い入れております。現在のカリキュラム内容では、獣医学部、看護学部はじめ理系大学から要請されている薬剤師国試受験資格拡大をしのげません。

4. 学部運営の方針

薬学部の現在を引っ張る執行部を横糸にして、中期長期の施策を検討する縦糸の学部長諮問機関として薬学部将来検討委員会を立ち上げました。6年制教育の行方が不確かな現在、カリキュラムをすぐには変更できません。国公立46薬科大学中1位、2位、1位、1位と4年続いて国家試験合格率が上位にあります。この実績から考えて変更する理由はありません。中期計画として、薬学部一貫教育の実習を含むカリキュラム、将来的な基礎教育部の先生方の大学院教員への移行の是非など、時間をかけて検討するつもりです。

中央機器の選定やハイテク予算が終了した後のハイテクラボ（共通機器室）の管理運営も視野に入れておかねばなりません。実質3人講座、休日出勤している社会人院生のいる講座職員への手当ての支給を大学に考えて貰うのも急務です。全国的に教員評価が第三者により行われるようになります。学生の教育や生活指導に加えて、学会発表、論文作成、科学研究費申請などは教員の義務と思いますが、講座研究費傾斜配分、教員任期制も導入されます。15年いても分からないことの多い薬学部です。未熟者ですので今後ともよろしくご指導下さい。今年から始まるAO入試については、他学部卒業生、医療職経験者など社会人も受け入れることになりました。優秀なやる気のある人材を発掘して下さい。

ご退任おめでとうございます

衛生化学教室羽賀正信先生と基礎教養学部教授（元薬理学教室助教授）門間芳夫先生が、平成12年3月をもちましてめでたくご定年をお迎えになり、お祝いの会が開催されました。

羽賀正信教授

平成12年3月5日、衛生化学教室 羽賀正信教授の退任記念祝賀会が札幌グランドホテルにおいて羽賀先生御夫妻をお招きして盛大に開催されました。当日は北海道はもとより、遠く沖縄など全国各地から、卒業生をはじめ学内外より多くの来賓ならびに職員の方々に御列席いただきました。同教室 和田助教授の開会の辞で幕を明けた祝賀会は、本学より廣重学長、堂垣内名誉理事長、富田前学長、薬学部長の渡部先生ならびに同窓会会長の山崎さんから祝辞を頂戴したあと、卒業生を代表して12期生の堤さん（旧姓佐藤さん）と19期生の佐藤さんから羽賀先生御夫妻に花束が贈られ、また5期生の上田さんからは記念品が羽賀先生に贈られました。羽賀先生から本学開学から現在に至るまでの数々のご苦勞や思い出などをお話いただいたあと、続いて、都合が悪く御列席いただけなかった方々から届けられた数多くの祝電が披露されました。そして、前田後援会会長のご発声により祝杯があげられると、会は一気に和やかな雰囲気になりました。大勢に懐かしい方々が一同に介した中で、羽賀先生は思い思いの会話に花を

咲かせるなど大変嬉しそうな様子でした。特に在学当時の思い出や近況報告など全国各地で活躍する卒業生とのお話には、感慨深い様子で耳を傾けていました。また会場では卒業生同士の会話の輪もでき、学生時代を思い起こし昔を懐かしむ声が聞こえたり、近況報告や情報交換などが各所で行われていました。このように終始賑やかな雰囲気の中、会は順調に進み、続いて羽賀先生の恩師ならびにご学友の方々からスピーチをいただいたあと、3期生の畑中さん、22期生の与儀さんからお祝いの言葉をいただきました。このような盛り上がりの中、瞬く間に2時間余りが過ぎ、最後は本学薬学部教授の南先生により乾杯で祝賀会の終焉が告げられると名残惜しむ声が聞かれるなか、祝賀会の幕を閉じました。御列席いただいた方々の盛大な拍手に見送られて会場をあとにされる羽賀先生は大変お幸せの様子でした。閉宴後、羽賀先生は北大時代のご学友の方々とともに、また卒業生は各期生毎の2次会へとそれぞれがホテルをあとにしました。

(植田尚美 17期生)



門間芳夫教授

門間先生のご退任を心よりお祝い申し上げます。薬理学の先生として、ゴルフ部顧問の先生として大変なご尽力をされ、そして我々に熱心な御指導をいただいたことに深く感謝いたします。

私の門間先生との出会いは「ゴルフ部」です。そして、私が大学生生活6年間で忘れられない出来事。それは「門間先生のエース」です。ホールインワンというのは自分で達成するのさる事ながら、目の当たりにすることも大変貴重なことです。私はその貴重な場面に同席させていただきました。ゴルフ部の「門間杯」。門間先生の名前が刻まれた杯を目指し、ゴルフ部の部員が技を競いあうコンペです。コンペは薬理学教室の同門会で使われている石狩平原カントリークラブ。この日、私は門間先生と同組で回っておりました。アウトコース（現在の西コース）の8番。高低差数十メートルの打ち下ろし。門間先生の放った白球はふわりと弧を描き、グリーン手前に着地。球を放った先生ではないのに、私にはそこからの一秒、ひとこりがりがとても長く感じられました。スーッとボールに向かって吸い込まれるように走る球。次の瞬間、我々の目には見えなくなりました。「カラン」という音を残して。

先生以上に躍り上がって喜んでいた自分がとても懐かしく感じられます。気が狂ったように騒いだおかげで、後ろの組を回っていた柳井先輩方も気が触れたように思われたことでしょう。後に思ったことですが、経験豊富な門間先生ですから喜

びよりも、「その後」を考えられていたのかもしれないですね。ホールインワンを達成すると何かと大変なことになります。記念のタオルありがとうございました。前にも後にも、ホールインワンを生で見たのはこの1回のみです。

ゴルフの話題でもうひとつ。私は門間先生にさらに痛い思いをさせてしまいました。これまた同じゴルフ場でのこと。門間先生が3メートル左前方に立っておられ、私の打球順番を待っていました。私の放ったボールがカップをめがけずに、門間先生の背中に一直線に。門間先生にしてみれば、右後方から打ちあがってくるはずのボールが見えず、いきなり背部に鈍痛が走られたのでしょうか。決して門間先生がボールに見えたわけではありません。私の技量不足で大変ご迷惑をおかけ致しました。この場を借りてあらためてお詫び申し上げます。二度と門間先生に痛い思いをさせないよう練習に精進し、願わくば今度は私が門間先生の前でエースをご披露したいと思っております。これからも御指導よろしく願いいたします。

(門間芳夫先生退任記念誌より 根本昌宏 15期生)



①札幌支部勉強会のお知らせ

札幌支部主催の勉強会を下記の日程で行います。

参加を希望される方は東日薬同窓室までFAX (01332-3-0301) にてご連絡下さい。

日時：平成12年10月19日 19：00～21：00

場所：北海道薬事会館

札幌市豊平区平岸1条8丁目5-12

電話 011-811-0184

演題：「かかりつけの薬局として選ばれるには」

講師：クリオネ新さっぽろ薬局 店長 中井 雅智先生 (本学3期生)

②東日薬懇親会のお知らせ

日本薬学会第121年会が平成13年3月28～30日にロイトン札幌をはじめとする札幌市内の会場で開催されます。これに併せて東日薬懇親会を3月28日に開催する予定です。詳細につきましては、後日あらためてお知らせいたします。お誘い合わせの上、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

支部だより 一道北支部一

支部長 畑 中 勝 (3期卒)

支部紹介のトップをご指名いただき、誠に光栄でありますとともに、何を書いたら良いのか責任の重さを感じているところです。以前にも会報で紹介させていただいたことがあります、(第10号) 始めになぜ支部が必要なのか、私見を述べてみたいと思います。私が当初札幌で就職した時は、友人・知人も多く、大学も近いという状況で、まして若い世代か同窓会などに振り向きもしませんでした。就職先は異動の多い会社でしたからその土地に居るわずかな同期が心のささえでもありました。どこの地にいても同じ大学の仲間や同じ職場の人たちでかたまってしまいます。私のような一人薬剤師として社会で参加していくには寂しい時期がありました。そんな時にもそばで声をかけてくれたのは先輩・後輩の方々でした。支部とはそんな些細なところに出発点があると思います。同窓会が活発であるほど、大学との連携も強くなります。薬剤師会の中でも顔見知りが増え、情報交換の場が広がります。学術講演会でも仲間が多いほど参加しやすくなります。等長くなりますので、毎年自分たちの地域に新しい卒業生が入ってきます。仲間をひとりぼっちにさせないためにも、明るく地域で活躍してもらうためにも支部があればと願っています。

ここから支部のPRです。道北支部は全国最北の支部です。旭川市を拠点として北は稚内から南は富良野までと広大なエリアを擁しています。昭和60年に発足して以来毎年支部会を開催しています。大きな特徴は拠点の旭川市とそれ以外の地域での開催を隔年持ち回り制としていることです。それは遠くて来られない方々のためにこちらから出向いていくことにより参加意欲を持たせることがねらいです。そのため支部を3ブロックにわけてそれぞれにブロック長を任命し協力していただいています。支部会員も150名を数えています。今年は医療薬学セミナーに阪田教授の講演とそれに先立ち2名の支部会員の研究発表を行います。これは来ていただく講師の方にすこしでも楽しみを、そしてみんなの元気な姿を見ていただきたいという気持ちで企画していきたいと思っています。今後は講師を交えてシンポジウムか座談会形式のようなものやってみたくと思っています。悩みは支部会員が増え、連絡や出欠をとるのに費用と手間がかさんでくることです。これも今後はメールやFAX・東日会報等を通じて考えて行こうと思っています。

宗谷ブロックと名士ブロックの合併成る

平成11年度の道北支部総会・医療薬学セミナーが1992年の開催以来7年ぶりに宗谷ブロック(歌登町)で行われました。

支部総会の内容

1. 東日薬本部総会に出席して(6/12札幌共済ホール)
報告:土谷知世佳
東日薬のホームページが開設されましたので是非覗いて見て下さい。各種セミナーの案内や東日薬総会開催のご案内、東日薬専用メールアドレスの公開など
<http://www.hokuriryu-u.ac.jp/>

2. 東日薬創立20周年記念祝賀会・支部長会に出席して
報告:畑中 勝
(7/17 ホテル札幌ガーデンパレス)

支部長会出席者名

山崎信彦会長、星野太郎理事、田中稔泰(札幌支部)、畑中勝(道北支部)、中村章(十勝支部)、笠原章平(根釧伸)、田中雅世(道南支部)、三上章(東北支部)、杉本雅規(北越支部)、川北恵一(栃木支部)、比嘉保(沖縄支部)、遠藤泰副会長、浜上尚也理事

議題

1. 各支部紹介がありほとんど活動していないところや、年1回のセミナーのみ薬剤師会の講演会の後に集合、歯学部と連携している、これから活動する等
2. 年2回の会報に各支部長持ち回りで寄稿してもらう。
3. 予算「特別会計」より支部設立準備金15万円、支部支援金その他。
4. 通信費や印刷費の効率化としてホームページ、Eメールの活用模索。
5. 同窓会名簿の運営一前回無料配布(送料込みで200万円支出)
今後の有料化も含めて検討(毎年100名くらいのメンテナンス費用計上)
6. 会員の死去(本人のみ)、結婚など報告あれば本部より祝・弔電あり。
7. 関東・関西支部を設立したいが、その動きが鈍い。各種学会があれば同窓会を行い結集を図る。
8. 医療薬学セミナーは支部活動に役立っているのかを検証。
9. 支部運営のあり方について一山崎会長より説明。
その後東日薬創立20周年記念祝賀会が開催されました。学内から理事長ら役員道薬高島会長、各支部長と同窓生204名の参加があり盛大な式典になりました。当支部の野田理事(11期)の応援もあり道北支部からも多数の方が出席しておられました。

3. 議案

- 検討事項 名士ブロックと宗谷ブロックの合併案について
従来の支部単独開催と異なり医療薬学セミナーとして定着し教授に講演をいただく際にはそれ相応の同窓生の出席が必要と考えられます。よって現状で宗谷ブロックでの開催では難しいと考えここに名士ブロックとの合併案を提出します。(名称:名士宗谷ブロック)
- JR料金の改定に伴う出張旅費の改正
東日薬本部総会への出張旅費 Sキップ往復料金+懇親会費+日当(2,000円)
以上の2案について可決されました。

(6期 相川病院) 野田敏弘 (11期 十仁薬局) 橋本幸枝 (13期 ノルデン薬局) 野田雅人 (14期 (株) 三共) 土谷知世佳 (15期 道立旭川保健所)

☆宗谷ブロック

宮澤俊彦・佐藤雅樹 (2期 市立稚内病院) 橋本健司 (3期) 藤原 孝 (13期 枝幸国保病院)
支部会員141名 出席者12名+委任する71名 (委任しない 5名)

過半数のため本年の支部総会は成立いたしました。当日出席していただいた方には遠路ご苦勞様でした。紙面を借りてお礼申し上げます。(支部長)

医療薬学セミナー

『能動的患者情報の収集と服薬指導』

北海道医療大学薬学部教授 齊藤 浩司 先生

講演要旨

服薬指導の目的 1. 患者個々のレベルでの医薬品の適正使用。 2. 患者のためQOLの確保。 3. 医療全体の質の向上や効率化。適切な服薬指導は患者情報の収集にありき。シクロスポリンとドキシソルピジン、ハロペリドールとドンペリドン、ロペラミドとフェンタネストなどの受容体レベルでの相互作用に続き、本題のP-糖タンパクに話が移ります。これは細胞が抗ガン剤などを異物として排除しようとする時に膜をつくるので、このバリアーにP糖タンパクが関与しているとされる。もしこの遺伝子が欠損している患者では重大な副作用の起きる可能性がでてくると考えられる。特にロペラミドドンペリドン、ジゴキシン、テルフェナジンなどにP-糖たん白が欠損していると併用時に予期せぬ副作用が現われるかもしれない。よって添付文書だけからでは予想できない副作用について確認することが重要で、そのメカニズムについて正確な情報を追求することが肝要。(詳細は道薬誌Vol. 16 No.12 (1999)を参照)

6. 役員改選 (任期 平成12年度一平成13年度)

支部長 畑中 勝 (3期 再)
副支部長 樋榮 邦直 (5期 再) 福地 隆康 (13期 再)
会計 深井 雪 (14期 新) 書記 近藤ゆかり (13期 再)
監査役 沼野 達行 (10期 新) 西川 由香 (19期 再)
名士宗谷ブロック長 金澤 恵子 (9期 新)
(宗谷ブロック長としてご協力いただきました橋本健司さんには引き続き副ブロック長としてご指導お願いいたしました。)

8. 支部総会・医療薬学セミナー出席者

福田 修司 (5期 東日薬理事)
☆旭川ブロック
畑中 勝 (3期 中央薬局) 樋榮邦直 (5期 北日本調剤) 村本純一 (5期 平成堂調剤薬局) 畑中真理



支部の出来事

○東日薬旭川地区親睦会 (6 / 9)

市内2条7丁目「COCOS」にて25名の出席者があり盛会でした。

同親睦会の幹事は、加賀邦威 (2期) 金森文孝 (4期) 田尾好正 (6期) 伊藤裕康 (14期) の4名。毎年1回はイベントを企画していく予定です。

○祝電披露

吉田 稔 (16期 旭川市立病院) 7 / 2 旭川グランドホテル
今井英樹 (15期 市立士別病院) 10 / 2 士別グランドホテル

次回以降も、支部活動の様子を紹介していきます。

随筆 「春の嵐」

縣 功

チョロチョロと小さな流れが積った雪の土と接するあたりから流れ出す頃、激しい南風が雪をともなって学舎を吹き抜け、春の到来を告げる。4年間薬学を学んだ学生等が卒業式を迎え、それぞれに希望と夢とをもって社会に巣立ってゆくのもその頃である。友人、先生、職員等々の人等と一期一会にその学生が何かと感じることができていれば大学生活は思い出と思案の出発点となり生きる糧ともなる。

ちょっと薬草園を歩きながらいろいろなことを考えてみよう。薬草園は雪の方が多く、土がちらほらとみとめられるくらいの頃、土の中に雪を被りながらみづみづしいフキノトウが顔をのぞかせている。日本には文化があるが文明はないという。文明とは世界に通用する技術や考え方で人間という生物がそれに接したら必ず欲してしまう技術であり考え方であるという。文化とはその土地に付随しているもののものであると言う。日本は昔から他の文明を取り入れて消化してきたようである。古代日本はインドの南端にあるタミル地方の文明を導入した。タンポ、ハタケ、アゼ、イネ、モチはタミル語からきたものである。次に高句麗の文明、次に漢字の文明をそれぞれ受け入れた。また新しい文明が持ち込まれた時期と、日本歴史の時代は区切られているという。今まで日本は日本文明というものを持ったことがない。

薬草園の雪がほとんどとけ土が見えはじめる。オウレンは短い花茎の上に小さな白い花をにぎやかに咲かせる。フクジュソウの黄色の花が春の色を示すかのようにきらびやかに咲く。ヨーロッパのフクジュソウは少しその黄色に赤がまじっているようで、これはギリシャ神話で出てくる美少年アドニス（フクジュソウの属名はAdonis）はイノシンに殺され、その血が大地に触れたときに、咲いた花であるという。ギリシャと言えばヨーロッパ文明発祥の地でありその文明の基は何であったろうか。その基本は「明晰」であるという。一体「明晰」とは何か。それはギリシャ人がその自然から学んだようである。ギリシャの自然を知らなければ「明晰」とは何かが分からないという。ギリシャに行き、有名なアテネのアクロポリスの丘に建つパルテノン神殿に行ってみると分かるという。そのときパルテノン神殿の石柱は太陽の光に白く輝き、その背後に紺碧の空が広がり、エーゲ海が下の方に青々としているという。この世界ははっきりともものが見える世界である。これを「明晰」というようである。すなわちはっきりものを見てそしてそれを分析しようとする。それがギリシャ文明の最も大事にしている概念であるという。それに対してこのギリシャの自然と対照的なのが日本の自然である。日本は四季があり、自然は微妙に変化してそれが日本の情緒をかも

し出しているといっても良く日本人の心の繊細さは大きな長長であると同時に最大の欠点とも言える。というのは日本の自然に春がすみ、さみだれ、……等その自然がはっきり見えないことが多い。だから日本人の情緒がこまかい所をぼんやりととらえる。それは和歌にしるその傾向がある。ということは日本人は物事をはっきり見ようとせず、万事が霧で霞んだ状態で見ているということ。物事を「あいまいにぼんやり」と捕えているというのである。そこにヨーロッパと日本の大きな違いがあるという。学問を例にとってみよう。ヨーロッパの考えでは學問（古い漢字）というのは學にメが入っており、先生と言葉を交す場所を指し、そこに子が集ってくる。問とは隙間から言葉を掛けることを言う言葉のやりとりである。日本ではどうか。日本では学問をマナブ、マネブと訳す分けてその真意は「真似する」ということであり、前述したように日本は他の国の文明をマナブことによって他国の文明を利用してきたので、このような考えになるのである。日本は21世紀に向けて日本文明を作り出していかなければいけない。21世紀はいやおうなしに創造の時代になり1人1人が自分のオリジナリティを持って仕事をしなければならぬ時代である。「明晰」ということからヨーロッパ文明は物をはっきりと見て細かく、分析して行った。医学で言えば病気になる器官をなをせば病気はなおるという考えで今まで医学的な大きな成果をあげてきた。しかし一方においてはその方法ではなおせない病気例えば慢性疾患などありその限界がみえてきたようである。しかしこのような慢性疾患は体全体をなおすことでなおせるのでないか、それが東洋医学の考えであり、体全体からなおすということはまた「あいまいさ」がその中にずい分多く含まれることになる。この東洋、そして日本人の持つ「あいまいさ」の中にこそ日本文明の基礎があるのではなからうか。それを見つけるのは皆さんであり皆さんの活躍を期待したい。

薬草園の丘に桜の花が咲き見上げると桜の花が青空にくっきりとほほえんでいた。



(懸先生撮影 フクジュソウ)

(懸先生は春・夏・秋・冬をテーマにして随筆をご寄稿下さいました。次号は、ラベンダーの香り(夏)です。)

— 薬剤師国家試験 — 新卒者合格率 2年連続のトップ!!

3月25、26の両日、第85回薬剤師国家試験が、北海道薬科大学をはじめとする全国の会場で行われました。今春卒業した118名と既卒の37名が受験し、126名(81.3%)の方々が合格しました。新卒者に限りまして、96.6%の合格率で昨年に続き全国の薬学部のある46国公立大学の中で第1位という輝やかな結果でした。合格者の皆様、合格おめでとうございます。各分野でのご活躍を大いに期待しております。

総会報告

5月20日ホテルKKR札幌にて総会が開催されました。以下にその内容をご報告するとともに、一層のご理解をいただきたく存じます。

平成11年度事業報告

主な事業内容について

1. 理事会の開催 (4回)
 - 第1回 4/17、第2回 5/15、第3回 7/1、第4回 11/20
 - 審議内容
 - 1) 総会開催準備
 - 2) 設立20周年記念祝賀会開催準備
 - 3) 平成12年度活動予定、方針について
 - 4) その他
2. 幹事会の開催 (2回)
 - 第1回 4/17、第2回 6/19
 - 審議内容
 - 1) 設立20周年記念祝賀会開催準備
 - 2) その他
3. 講演会の開催
 - 1) 医療薬学セミナー (各支部と協力)

5月2日	小松 (北越支部)	遠藤副会長
6月12日	札幌 (札幌支部)	田中副会長
9月18日	宇都宮 (栃木支部)	山崎会長
9月18日	青森 (青森支部)	遠藤副会長
10月2日	歌登 (道北支部)	福田副会長
10月16日	釧路 (釧路支部)	田中副会長
 - 2) 第14回医療薬学公開講座
札幌 11月13日
4. 第20回東日薬総会の開催 (6月12日、出席者43名)
5. 支部長会議の開催 (7月17日、出席者13名)
6. 設立20周年記念祝賀会 (7月17日、出席者: 来賓31名、同窓生188名、計219名)
7. 会報の発行 (第15号/5月15日、第16号/2月15日)
8. 本学他同窓会 (園学部、看護学部、専門学校3校) との懇談会
出席者: 山崎会長、多田副会長、福田副会長
9. 謝恩会へ山崎会長出席 (3月18日)

平成12年度事業計画

主な事業計画

1. 理事会の開催 第1回 4/22
 - 審議内容
 - 1) 総会開催準備
 - 2) 名簿作成準備
 - 3) その他
2. 第21回東日薬総会の開催 (5月20日)
3. 講演会の開催
 - 1) 医療薬学セミナー (各支部と協力)

5月20日	札幌 (札幌支部)	10月14日	旭川 (道北支部)
5月27日	浦添 (沖縄支部)	10月21日	青森 (青森支部)
6月18日	長岡 (北越支部)	11月4日	函館 (函館支部)
9月2日	帯広 (帯広支部)	11月25日	釧路 (釧路支部)
9月9日	宇都宮 (栃木支部)		
 - 2) 第15回医療薬学公開講座
札幌 11月11日
4. 支部長会議の開催 (札幌、9月頃予定)
5. 会報の発行 (第17号/8月頃予定、第18号/2月頃予定)
6. 本学他同窓会との懇談会
7. 卒業生の入会案内 (12月頃予定)
8. 謝恩会出席 (3月)
9. 懇親会の開催 (3月)
10. 第1回薬剤師リフレッシュスクールへの後援
開催日時: 6月10・24日、7月8・22日 (土曜日、14:00-17:00)

● 卒後研修のお知らせ

下記の日程で医療薬学公開講座および医療薬学セミナーが開催されます。お近くで開催されますセミナーにご参加いただきますようご案内致します。

● 第15回 医療薬学公開講座

テーマ 『介護保険制度における薬剤師の役割』

会場：朝日ホール

演題	講師	講演内容	開講日時
医師の立場から	長瀬 清 (北海道医師会副会長・ 長瀬内科医院院長)	在宅で介護を受ける老人に対して、介護と医療の実を上げるための薬の正しい、きめ細かな、根気強い服薬指導は極めて重要である。	11月11日 (土) 15:00~17:00
開局薬剤師の活路を探る	木村 隆次 (青森県薬剤師会常務理事・ ハロー薬局代表)	老人保健・老人福祉・介護保険法から見た地域の保健医療福祉相談提供システムを紹介し、薬剤師の12の位置づけを確認し薬剤師の活路を探る。	

■ 講師略歴

長瀬 清 ●ながせ きよし：1938年生まれ。北海道大学大学院医学研究科内科系修了。76年北海道大学医学部附属病院講師。83年長瀬内科医院開設。91年札幌市医師会中央区東支部長。99年北海道医師会副会長。専門は内科学。消化器病学。

木村 隆次 ●きむら りゅうじ：1958年生まれ。城西大学薬学部卒業。杏林薬品(株)勤務後、90年ハロー薬局開設。青森県介護支援専門員指導者。青森市在宅介護支援センター運営協議会副会長として青森市保健医療福祉相談提供システムを構築中。日本薬剤師会介護保険対策特別委員会ワーキンググループ委員。

● 医療薬学セミナー

開催地	講演会場	講師	演題	講演内容	開講日時
札幌	ホテルKKR札幌 札幌市中央区北4条西5丁目	西部 三省 (本学薬学部教授・ 総合図書館長)	生薬のポリフェノールとがん予防	ポリフェノールががんをはじめ種々の病気の予防に効果があると注目されている。生薬の新しい活用方法について提唱したい。	5月20日 (日) 18:00~20:00
浦添	株式会社ダイコー沖縄 浦添市牧港4-12-1	齊藤 浩司 (本学薬学部教授)	医薬品の体内挙動に関する新しい解釈と薬剤師業務への応用	P-糖たん白などの自己防御機構と医薬品の相互作用に関する最近の話題を紹介し、これらの情報を今後どのように薬剤師業務の中に反映させていくべきかを考える。	5月27日 (土) 19:00~21:00
長岡	長岡パークホテル 長岡市城内1-1-5	森 洋樹 (本学薬学部教授)	ディーゼル排気粒子(DEP)の生体影響	現在、ディーゼル排気粒子は大気汚染物質として注目されている。多岐にわたるDEPの生体に対する影響を実験科学的に考察する。	6月18日 (日) 14:30~16:30
帯広	ホテル若松 帯広市大通南5条11丁目	堀田 清 (本学薬学部助教授・ 薬用植物園園長)	食と健康を考える ~究極の薬膳とは...~	key wordは『香辛料(スパイス)』、『活性酸素』、『老化・ガン予防の食材』などです。毎日食べる食材と健康についてお話しします。	9月2日 (土) 17:00~19:00
宇都宮	ホテル東日本宇都宮 宇都宮市上大曾町492-1	阪田 正勝 (本学薬学部教授)	薬・毒物による医療事故を防ぐために	医療事故が多発している中で、幸い薬剤師による重大な事故は少ない。今後、薬剤師に対する期待が大きくなると共に責任も重くなっていくことから、薬害を含めた医療事故を防ぐために薬剤師は何をすべきかを考える。	9月9日 (土) 18:00~20:00
旭川	上川教育研修センター 旭川市6条4丁目	阪田 正勝 (本学薬学部教授)	ファーマシューティカル・ケア実践のためのネットワーク作り ~患者・医師・薬剤師・薬学部教員の連携~	ファーマシューティカル・ケア実践に必要な薬物療法の知識の修得と、患者や医師とのコミュニケーションの方法を学ためのネットワーク作り、大学がいかにお手伝いできるかを一緒に考えてみたい。	10月14日 (土) 16:30~18:30
		樋栄 邦直 (北日本調剤:5期生)	保険薬局における薬物療法へのかわり	鼻炎患者の訴えをもとに、医師と共に新しい薬剤の配合を検討したところ、患者のニーズにあった薬剤を調整することができた。この経験から保険薬局における薬物療法へのかわりについて述べる。	
		畑中 勝 (中央薬局:3期生)	添付書類情報の検討 ~用法、用量について~	保険薬局でもっとも身近な情報源として添付文書があるが、その中の用法・用量の記載がメーカーにより大きく異なっている。その背景と使用上の問題点を考える。	
青森	ホテル青森 青森市堤町1-1-23	南 勝 (本学薬学部長・教授)	多剤併用の問題点 ~薬物相互作用について~	合併症毎に処方される高齢者は多剤併用の相互作用に直面する。相互作用の実例を紹介、発現機序を解説し、その対応について述べる。	10月21日 (土) 18:00~20:00
函館	ホテルオーランド 函館市昭和4-34-12	齊藤 浩司 (本学薬学部教授)	望まれる医療現場の薬剤師像	「薬剤師とは何か、薬剤師は何ができるのか」について様々な観点から問い直し、変貌するこれらの医療システムにおける薬剤師のあり方を考える。	11月4日 (土) 14:00~16:30
		同窓生(2名)	・調剤薬局薬剤師の立場から ・病院薬剤師の立場から		
釧路	釧路パシフィックホテル 釧路市栄町2-6	関川 彬 (本学薬学部教授)	在宅医療におけるチーム医療	在宅医療において医療従事者のそれぞれの役割分担と連携、特に薬剤師の働きを中心に考える。	11月25日 (土) 18:00~20:00

編集後記

昨年に引き続き今年も暑い夏でしたが、皆さんはいかがお過ごしでしたか？

東日薬会報17号をお手元にお届けいたします。今回から支部活動の状況を「支部だより」として紹介していきます。紙面の都合上、1号につき1支部の紹介となりますが、それぞれの支部が活発に活動している様子を紹介することができればと考えております。また、懸先生からは薬草園の春夏秋冬をテーマにした4つの随筆をお送りいただきました。4回連続で掲載します。どうぞお楽しみに！

この会報がお手元に届く頃は、すっかり秋も深まっていることと思います。

食べ物が美味しい季節になりますね。どうぞお元気で過ごして下さい。春にまたお逢いしましょう。(N)

日本調剤グループ

㊦ 日本調剤株式会社

全国70店舗展開、
保険調剤薬局業の
トップクラスである
当社では、2002年
の店頭公開目指して
います。

連絡先

〒104-0028
東京都中央区八重洲2-2-1
新八重洲口ビル9F
TEL. 03-3510-6131

㊦ 日本調剤ファルマスタッフ株式会社

私たちは日本調剤がバックボーン of 薬剤師に特化した
人材派遣会社です。

● 薬剤師の方へ

平成11年12月より薬剤師（病院への派遣、管理薬
剤師、診療所への派遣を除く）の派遣がスタートし、
薬剤師の新しい働き方が生まれました。たくさんの登
録企業から選べるので仕事の選択の幅がぐんと広がり
ます。登録はもちろん無料です。

薬剤師派遣スタッフ募集!

● 薬剤師採用をお考えの方へ

貴社に代わって「求人・面接・教育」を一貫して行います。

JPPS—業界初の薬剤師専門の派遣会社

㊦ 日本調剤ファルマスタッフ株式会社

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-2-1 住友生命八重洲ビル1階
TEL.03-3510-6789 FAX.03-3510-6781

登録専用フリーダイヤル **0120-38-8931** (担当：H1係)

ホームページアドレス <http://38-8931.com>

パンフレットをご希望の方は、
お電話ください。
詳細はホームページを
ご覧下さい。